

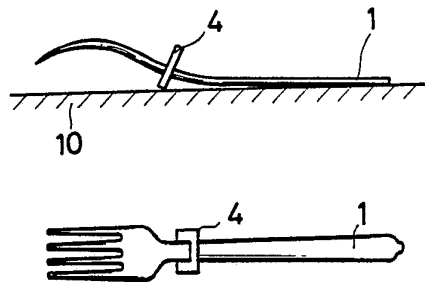


特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類 4 A47G 21/00, 21/02, 21/04	A1	(11) 国際公開番号 WO 90/06709 (43) 国際公開日 1990年6月28日 (28.06.90)
(21) 国際出願番号 PCT/JP89/00187 (22) 国際出願日 1989年2月23日 (23. 02. 89) (30) 優先権データ 実願昭 63-161776 U 1988年12月15日 (15. 12. 88) JP (71) 出願人; および (72) 発明者 内山友和 (UCHIYAMA, Tomokazu) [JP/JP] 〒150 東京都渋谷区神南1丁目13番15号 Tokyo, (JP) (74) 代理人 弁理士・弁護士 小川景士 (OGAWA, Kagehito) 〒105 東京都港区西新橋1丁目6番21号 大和銀行虎ノ門ビル7階 小川法律特許事務所内 Tokyo, (JP) (81) 指定国 AU, GB, US. 添付公開書類 国際調査報告書		

(54) Title: TABLEWARE AND ITS HOLDER

(54) 発明の名称 食 事 具 及 び 食 事 具 保 持 具



(57) Abstract

A projection (4) is provided at a position closer to the tip than the centroid of tableware (1) such as knife, fork, spoon, chop stick, butter knife, china spoon for Chinese foods, etc., so that their tip does not touch the table (10) when placed thereon. The present invention relates also to a tableware holder for forming the projection described above.

(57) 要約

ナイフ・フォーク・スプーン・箸・バターナイフ・中華料理用レンジ等の食事具（１）の重心よりも先端に近い位置に凸部（４）を設け、テーブル（１０）等に置いたとき先端が触れないようにした食事具及び前記凸部を形成する食事具保持具である。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第1頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AT オーストリア	ES スペイン	MG マダガスカル
AU オーストラリア	FI フィンランド	ML マリ
BB バルバードス	FR フランス	MR モーリタニア
BE ベルギー	GA ガボン	MW マラウイ
BF ブルキナ・ファソ	GB イギリス	NL オランダ
BG ブルガリア	HU ハンガリー	NO ノルウェー
BJ ベナン	IT イタリア	RO ルーマニア
BR ブラジル	JP 日本	SD スーダン
CA カナダ	KP 朝鮮民主主義人民共和国	SE スウェーデン
CF 中央アフリカ共和国	KR 大韓民国	SN セネガル
CG コンゴ	LI リヒテンシュタイン	SU ソビエト連邦
CH スイス	LK スリランカ	TD チャード
CM カメルーン	LU ルクセンブルグ	TG トーゴ
DE 西ドイツ	MC モナコ	US 米国
DK デンマーク		

明 細 書

食事具及び食事具保持具

技 術 分 野

- 5 本発明は、ナイフ・フォーク・スプーン・箸・バターナイフ・中華料理用レンゲ等の食事具及びその保持具に係り、特に、テーブル等に置いたとき先端がテーブル等に触れないようにすることができる食事具及びその保持具に関するものである。

10 背 景 技 術

従来、箸等の食事具をテーブル等の上に置く際使用中の先端がテーブルに触れないようにするため、箸置きやナプキン等が用いられている。またこれらが無い場合は食事具を皿の縁に掛ける等している。

- 15 前記従来技術では、特別に箸置きやナプキン等が必要となるため、食事具をテーブル上の箸置等のある場所にしか置くことができず、かつその場所には他のものを置くことができないので、テーブル上が自由に使用できない。また箸置等が食事具と別個になっているため、他の場所に移すには箸置等と食事具とを両方持って移動させ
20 ねばならないという問題もあった。

本発明は、これら問題点を解決して、食事具をテーブル等の所望の位置に容易に置け、かつ移動も容易であるようにしてテーブル上を自由に使用可能とした食事具及びその保持具を提供することを目的とするものである。

25

発 明 の 開 示

本発明は、食事具の重心よりも先端に近い位置に、平面上に置いたとき食事具先端が該平面に着かないようにする凸部を一体または別体として設けたものである。

凸部としては、食事具本体への取付部及び足部を有し、取付け部は食事具に回転可能に設けられている保持用部材を用いると効果的である。

- 5 また、保持具を弾性針金状体で構成し、これら弾性針金状体はその一端で食事具本体に回転可能に設けられ、食事具本体には前記保持具を収納可能な穴部を設けるようにするとよい。

さらに本発明は、食事具保持具を中央に食事具の柄が通過可能な穴を有し外縁の一部に平坦部を有するようにしたものである。

- 10 針金状体からなり、その一部を食事具の柄より狭くした形状の食事具の保持具を用いてもよい。

台形状をしており、その短辺付近に磁石を設けた食事具の保持具を用いてもよい。

上記の凸部を設けた構成の食事具では、テーブル等に置いたとき

- 15 凸部が支えとなり食事具先端がテーブル等に触れない。

凸部を食事具に回転可能に設けた保持部材とした構成では、保持部材を回転して適当な位置に移動することにより食事具の支えの役割を果たす。

- 20 弾性針金状体を用い食事具本体に収納用穴を設けた構成では、該針金状体は使用しないときは収納穴に収納され、使用時に移動して食事具の支えとなる。

中央に食事具の柄が通過可能な穴を有した構成の食事具保持具では、これを食事具の柄に通して食事具の重心より先端に近い位置におくことにより、食事具の支えとなる。

- 25 前記の弾性針金状体からなる構成の食事具の保持具では、保持具に食事具の柄を通し重心より先端に近い部分を保持具の狭部に載せることにより、食事具の支えとなる。

前記の磁石を設けた構成の保持具では、磁石を食事具の柄の重心より先端に近い部分に付着させることにより、磁性体でない食事具

3

の場合は柄の前記位置に保持具を上下から挟んで保持具同士の磁石を吸引させることにより、食事具の支えとなる。

本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載
5 されるような効果を奏する。

①食事具をテーブル等の所望の位置に置くことができる。

②箸置等が不要になるためテーブル上が自由に使える。

③請求項2及び3記載の発明では、使用しないとき凸部を畳み込むことができるので邪魔にならない。

10

図面の簡単な説明

第1図Aは本発明の1実施例の側面図、同図Bは同平面図、第2
図Aは本発明の他の実施例の側面図、同図Bは同平面図、第3図A
は本発明の他の実施例の保持部材部分の拡大側面図（同図BのA－
15 A線に添った断面図）、同図Bは同拡大平面図、第4図Aは本発明
の他の実施例の側面図、同図Bは同平面図、同図Cは保持具の正面
図、第5図Aは本発明の他の実施例の側面図、同図Bは同平面図、
同図Cは保持具の正面図、第6図Aは本発明の他の実施例の側面図
、同図Bは同平面図、同図Cは保持具の正面図である。

20 1... フォーク、1'... 箸、11... 穴部、12... 取
付部材、2... 保持用部材、21... 取付部、22... 足部
、3・3'... 弾性針金状体、31... 取付部、32・32'
... 足部、4... 凸部、5... 保持具、51... 狭部、6
... 保持具、61... 磁石、71・72... 保持具、711
25 ・721... 磁石、10... テーブル

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施例を第1～6図を用いて説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す。本実施例では、角を丸くした

ほぼ正方形の凸部 4 の中央に穴を設けてある。使用時には凸部 4 の穴にフォーク 1 等の柄を通して図のようにフォーク 1 等の先端がテーブル 10 等に触れないようにする。

- 5 凸部 4 は半円形等他の形状でももちろんよく、また、フォーク 1 と一体となっていてよい。

第 2 図は、本発明の他の実施例を示したものである。本実施例はフォーク 1 に針金状の保持用部材 2 を設けたものである。保持用部材 2 は、食事具本体への取付部 2 1 及び足部 2 2 を有し、取付部 2 10 1 は食事具に回転可能に設けられている。

保持用部材 2 は、使用しないときには図の二点鎖線で示すように食事具の柄に寄せた位置に置いておけば、邪魔になることがない。使用時には保持用部材 2 を図の実線位置に移動し足部 2 2 で食事具をテーブル等の上に支える。保持用部材が使用時の位置で適切に停止 15 するようにするには、取付部にバネを設けたり凸形のストッパを設ける等周知の方法をとればよい。

第 3 図は本発明の他の実施例を示す。本実施例では、保持用部材は元で 1 つになっている 2 本の弾性針金状体 3、3' からなり、その元の取付部 3 1 はフォーク 1 の取付部材 1 2 の穴に通してある。20 他方、フォーク 1 の柄には穴部 1 1 を設けてある。

保持用部材を使用しないときは、第 3 図 A、B に示すように保持用部材 3、3' を穴部 1 1 に収納しておき、使用時にはこれを取り出すと弾性によって両側に拡がり第 3 図 A、B の二点鎖線で示すようにフォーク 1 を支える状態となる。

25 第 4 図は、本発明の他の実施例を示す。本実施例では、保持具 5 を弾性体の針金等で作製し、その一部に狭部 5 1 を設ける。使用時には、フォーク 1 等の柄を保持具 5 の狭部 5 1 に載せて図に示すような状態でフォーク 1 等の支えとする。

保持具 5 は、弾性により食事具の柄を押し付けて挟む様に作成す

5

ると食事具の保持がより完全に行える。

保持具 5 は巾のあるリボン状の鋼等で作成してもよい。

第 5 図は、本発明の他の実施例を示す。本実施例では、保持具 6
5 を台形状としてその上部に磁石 6 1 を設ける。これによりフォーク
1 等の金属製の食事具の場合は磁石 6 1 をフォーク 1 等の柄に吸付
けて図のような状態で支えとする。

第 6 図は、本発明の他の実施例を示す。本実施例では、2つの保
持具 7 1、7 2 があり、これらは端に磁石 7 1 1、7 1 1、7 2 1
10、7 2 1 を設けてある。使用時には、両保持具 7 1、7 2 の間に箸
1' 等の食事具を挟み、磁石 7 1 1、7 2 1 を吸引させるようにし
て、食事具の支えとする。

この場合 7 1 1、7 2 1 の一方は磁石でなく鉄片等の磁性体材料
でもよい。

15 なお、上記保持具を小さくして一对の保持具が 1 本の箸を挟んで
保持するようにし、2 本の箸の保持に 2 対の保持具を使用するよう
にすれば、保持具を付けたまま箸で食事ができる。

産業上の利用可能性

20 以上のように、本発明にかかる食事具及び食事具保持具は、ナイ
フ・フォーク・スプーン・箸・バターナイフ・中華料理用レンゲ等
及びその保持具として有用である。

請求の範囲

1. 食事具の重心よりも先端に近い位置に、平面上に置いたとき食事具先端が該平面に触れないようにする凸部を一体または別体として設けたことを特徴とする食事具。
5
2. 食事具本体への取付部及び足部を有し、取付け部は食事具に回転可能に設けられている保持用部材を凸部とする請求項1記載の食事具。
3. 保持用部材は弾性針金状体からなり、食事具本体には前記保持用部材を収納可能な穴部を設けた請求項2記載の食事具。
10
4. 中央に食事具の柄が通過可能な穴を有し外縁の一部に平坦部を有する食事具保持具。
5. 弾性針金状体からなり、その一部を食事具の柄より狭くした形状の食事具の保持具。
- 15 6. 上面よりも底面が広い形状をしており、その上面付近に磁石を設けた、食事具の保持具。

1/3

FIG. 1 (A)

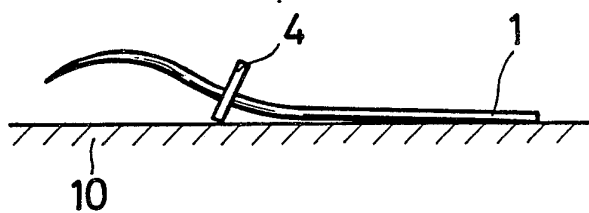


FIG. 1 (B)

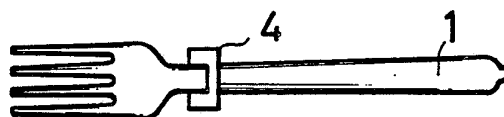


FIG. 2 (A)

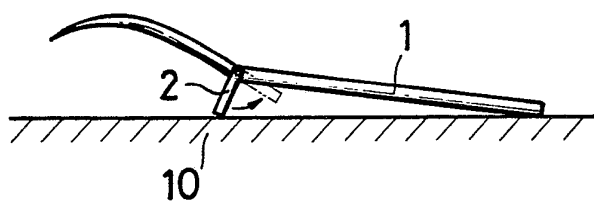
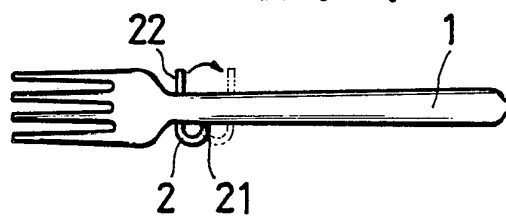
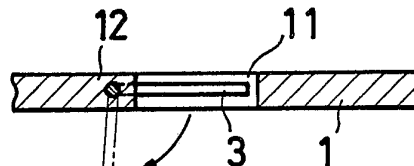
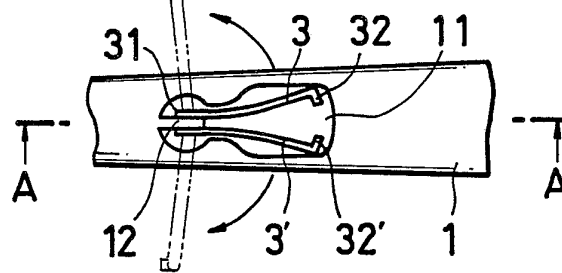
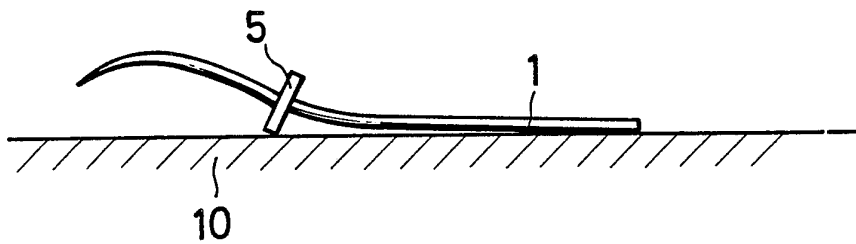
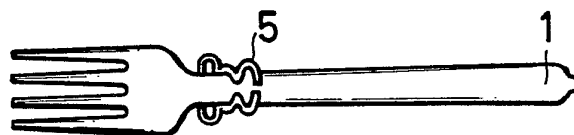
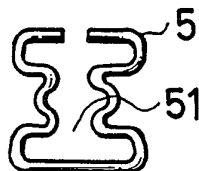


FIG. 2 (B)



$\frac{2}{3}$ **FIG. 3(A)****FIG. 3(B)****FIG. 4(A)****FIG. 4(B)****FIG. 4(C)**

3/3

FIG. 5 (A)

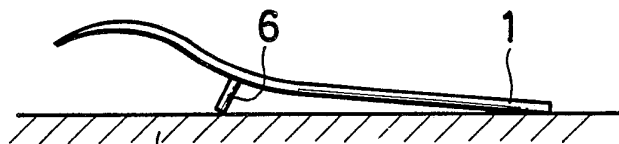


FIG. 5 (B)

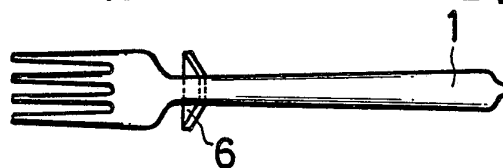


FIG. 5 (C)



FIG. 6 (A)

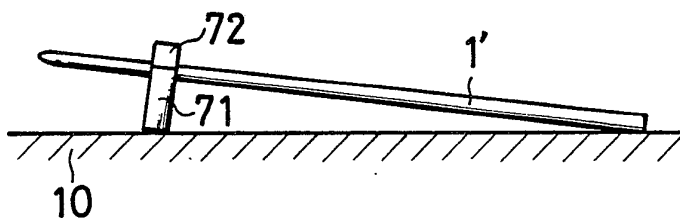


FIG. 6 (B)

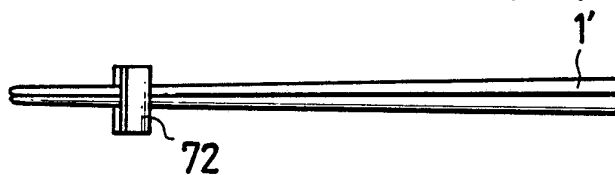
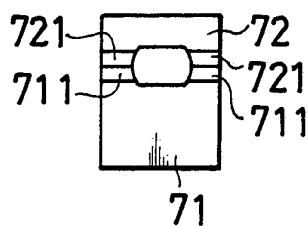


FIG. 6 (C)



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No PCT/JP89/00187

I. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER (if several classification symbols apply, indicate all) ⁶ According to International Patent Classification (IPC) or to both National Classification and IPC Int. Cl⁴ A47G21/00, 21/02, 21/04																	
II. FIELDS SEARCHED Minimum Documentation Searched ⁷ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">Classification System</td> <td style="padding: 5px;">Classification Symbols</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">IPC</td> <td style="text-align: center; padding: 10px;">A47G21/00, 21/02, 21/04</td> </tr> </table>			Classification System	Classification Symbols	IPC	A47G21/00, 21/02, 21/04											
Classification System	Classification Symbols																
IPC	A47G21/00, 21/02, 21/04																
Documentation Searched other than Minimum Documentation to the Extent that such Documents are Included in the Fields Searched ⁸ <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">Jitsuyo Shinan Koho</td> <td style="padding: 5px;">1926 - 1989</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Kokai Jitsuyo Shinan Koho</td> <td style="padding: 5px;">1971 - 1989</td> </tr> </table>			Jitsuyo Shinan Koho	1926 - 1989	Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971 - 1989											
Jitsuyo Shinan Koho	1926 - 1989																
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971 - 1989																
III. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT ⁹ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%; padding: 5px;">Category [*]</th> <th style="width: 60%; padding: 5px;">Citation of Document, ¹¹ with indication, where appropriate, of the relevant passages ¹²</th> <th style="width: 30%; padding: 5px;">Relevant to Claim No. ¹³</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">X</td> <td style="padding: 5px;">JP, U, 57-2877 (Nishimura Shigetoshi) 8 January 1982 (08. 01. 82) Column 1, lines 2 to 5, Figs. 1 to 3 (Family: none)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">X</td> <td style="padding: 5px;">JP, Y2, 54-1915 (Takamata Kogyo Kabushiki Kaisha) 26 January 1975 (26. 01. 79) Column 1, lines 1 to 27, Figs. 1 to 3 (Family: none)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">1, 2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">A</td> <td style="padding: 5px;">JP, U, 54-25184 (Ohno Eiichi) 19 February 1979 (19. 02. 79) Columns 1 to 2, Figs. 1 to 3 (Family: none)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">3, 4, 5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">Y</td> <td style="padding: 5px;">JP, Y2, 61-24150 (Matsumoto Nariyasu) 19 July 1986 (19. 07. 86) Column 1, lines 2 to 17, Figs. 1, 2 (Family: none)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top; padding: 5px;">6</td> </tr> </table>			Category [*]	Citation of Document, ¹¹ with indication, where appropriate, of the relevant passages ¹²	Relevant to Claim No. ¹³	X	JP, U, 57-2877 (Nishimura Shigetoshi) 8 January 1982 (08. 01. 82) Column 1, lines 2 to 5, Figs. 1 to 3 (Family: none)	1	X	JP, Y2, 54-1915 (Takamata Kogyo Kabushiki Kaisha) 26 January 1975 (26. 01. 79) Column 1, lines 1 to 27, Figs. 1 to 3 (Family: none)	1, 2	A	JP, U, 54-25184 (Ohno Eiichi) 19 February 1979 (19. 02. 79) Columns 1 to 2, Figs. 1 to 3 (Family: none)	3, 4, 5	Y	JP, Y2, 61-24150 (Matsumoto Nariyasu) 19 July 1986 (19. 07. 86) Column 1, lines 2 to 17, Figs. 1, 2 (Family: none)	6
Category [*]	Citation of Document, ¹¹ with indication, where appropriate, of the relevant passages ¹²	Relevant to Claim No. ¹³															
X	JP, U, 57-2877 (Nishimura Shigetoshi) 8 January 1982 (08. 01. 82) Column 1, lines 2 to 5, Figs. 1 to 3 (Family: none)	1															
X	JP, Y2, 54-1915 (Takamata Kogyo Kabushiki Kaisha) 26 January 1975 (26. 01. 79) Column 1, lines 1 to 27, Figs. 1 to 3 (Family: none)	1, 2															
A	JP, U, 54-25184 (Ohno Eiichi) 19 February 1979 (19. 02. 79) Columns 1 to 2, Figs. 1 to 3 (Family: none)	3, 4, 5															
Y	JP, Y2, 61-24150 (Matsumoto Nariyasu) 19 July 1986 (19. 07. 86) Column 1, lines 2 to 17, Figs. 1, 2 (Family: none)	6															
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> [*] Special categories of cited documents: ¹⁰ "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family </td> </tr> </table>			[*] Special categories of cited documents: ¹⁰ "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family													
[*] Special categories of cited documents: ¹⁰ "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family																
IV. CERTIFICATION <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">Date of the Actual Completion of the International Search</td> <td style="padding: 5px;">Date of Mailing of this International Search Report</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">May 22, 1989 (22. 05. 89)</td> <td style="text-align: center; padding: 10px;">May 29, 1989 (29. 05. 89)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">International Searching Authority</td> <td style="padding: 5px;">Signature of Authorized Officer</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">Japanese Patent Office</td> <td></td> </tr> </table>			Date of the Actual Completion of the International Search	Date of Mailing of this International Search Report	May 22, 1989 (22. 05. 89)	May 29, 1989 (29. 05. 89)	International Searching Authority	Signature of Authorized Officer	Japanese Patent Office								
Date of the Actual Completion of the International Search	Date of Mailing of this International Search Report																
May 22, 1989 (22. 05. 89)	May 29, 1989 (29. 05. 89)																
International Searching Authority	Signature of Authorized Officer																
Japanese Patent Office																	

国 際 調 査 報 告

国際出願番号PCT/JP 89/ 00187

I. 発明の属する分野の分類		
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. A47G21/00, 21/02, 21/04		
II. 国際調査を行った分野		
調 査 を 行 っ た 最 小 限 資 料		
分 類 体 系	分 類 記 号	
IPC	A47G21/00, 21/02, 21/04	
最小限資料以外の資料で調査を行ったもの		
日本国実用新案公報 1926-1989年 日本国公開実用新案公報 1971-1989年		
III. 関連する技術に関する文献		
引用文献の※ カテゴリー	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
X	JP, U, 57-2877 (西村重寿) 8. 1月. 1982 (08. 01. 82) 第1欄, 第2-5行, 第1-3図 (ファミリーなし)	1
X	JP, Y2, 54-1915 (高又工業株式会社) 26. 1月. 1979 (26. 01. 79) 第1欄, 第16-27行, 第1-3図 (ファミリーなし)	1. 2
A	JP, U, 54-25184 (大野栄一) 19. 2月. 1979 (19. 02. 79) 第1-2欄, 第1-3図 (ファミリーなし)	3. 4, 5
Y	JP, Y2, 61-24150 (松本成保) 19. 7月. 1986 (19. 07. 86) 第1欄, 第2-17行, 第1, 2図 (ファミリーなし)	6
※引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日の後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリーの文献		
IV. 認 証		
国際調査を完了した日 22. 05. 89	国際調査報告の発送日 29.05.89	
国際調査機関 日本国特許庁 (ISA/JP)	権限のある職員 特許庁審査官 黒 瀬 雅 一	3 B 8 5 0 8